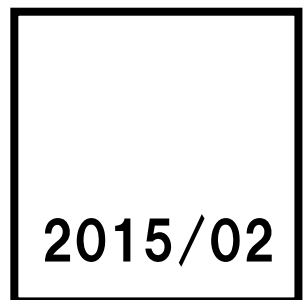




神奈川県立川崎図書館 が所蔵する
全国有数の〈社史コレクション〉を
さらに活用していただくため、
社史の使い方や、社史の楽しさ、
社史情報などをお届けしていきます。



バレンタインデーにチョコレートをも
らえない男子（私も含みます）が、ひがんで「バレンタインなんて菓子屋の陰謀じゃ
ん」的な発言をしているのを、学生時代か
ら度々、耳にしています。2月の「社楽」
のネタに面白いかもと、製菓メーカーの社
史を見てみることにしました。

ところが、ここでもバレンタインに縁が
薄いのか、思ったような記載は、なかなか
見つけられなかったのですが、気付いたも
のを、いくつか紹介しておきます。

○●
『森永製菓一〇〇年史』（2000年刊）
では、ハイクラウンチョコレートを紹介し
た項目で「チョコレートと縁の深いバレン

ンタインデーの普及活動においても森
永は先駆者であった。昭和三五年、森永
は欧米のバレンタイン行事にヒントを
得て、森永バレンタイン企画を発足さ
せ、いち早くマスコミを通して大々的に
チョコレートの販売促進を行ない、その
後も毎年、バレンタインデーの普及を図
った」とあります。

1961年のバレンタインギフトの
新聞広告や、1965年のバレンタイン
ギフト五周年記念企画「世界の宝石ジェ
ム・ストーン・アクセサリーセットを5
万名様に」のキャンペーンの新聞広告も
掲載されています。

バレンタインデーと社史。

○●
『明治製菓の歩み 買う気で作って6
0年』（1977年刊）には、1975年
1月、バレンタインデーに先立って発売さ
れた明治デュエットチョコレートが取り
上げられています。また『明治製菓の歩み
創業から70年』（1987年刊）には、
1987年2月14日に約1万人を招待
して行った中森明菜の日本武道館ライブ
が載っています。こうした商品開発やイベ
ントによって、風習としてますます定着し
ていったのかもしれない。

○●
グリコやロッテの社史では、バレンタイ
ンに関する目立った記事は見つけられま
せんでしたが、各種の「あ、懐かしい。子
どもの頃、よく食べた」というお菓子がた
くさん載っていて楽しかったです。製法の
工夫を、わかりやすく説明しているペー
ジもありました。

（裏面に続く）

(表面から続く)

さて、『小さな企業の大きな挑戦 メリー50年の軌跡』(2001年刊行)の「第3章 バレンタインにみるチョココレートの効用」には、とくに詳しくバレンタインデーについて載っています。メリーでアルバイトをしていた原邦生(のち社長)のところに、パリに赴任していた大学の先輩から一枚の葉書がとどきます。「こちら(パリ)にはチョココレートや花、カードなどを贈り合う(バレンタイン)という習慣があります。」という文面でした。この文面にヒントを得て1958年に伊勢丹新宿本店で行ったのが、日本初のバレンタインフェアである、と記されています。最初のフェアで売れたのは、三日間で一枚50円のチョココレート3枚とカード代を含めて合計170円だったそうです。それでも翌年も翌々年も続けていくと、週刊誌などで取り上げられたり、大手のチョココレートメーカーも参入したりして、広く認知されるようになっていったとあります。詳細やさらなる展開は同書をご覧ください。

『伊勢丹百年史』(1990年刊行)にも、このメリーチョココレートが最初に行ったバレンタインフェアの記事は載っています。「その最初はメリーチョココレートが1958年2月に当社売場で販売したもので、わが国に風習が根付く端緒となった」とあります。

インターネットを検索してみると、日本におけるバレンタインの風習の始まりには、これらを含めて諸説あるようです。もし社史室で調査をするなら、製菓メーカー・業界団体だけでなく、百貨店などの社史を含め、すこし手広く調べてみるのもよいと思います。

(科学情報課・高田)

2014年によく借りられた社史は

1位は『読売テレビ50年史』で13回の貸し出しがありました(電子媒体等を含む、以下同じ)。10回以上借りられた社史は、ほかに『TBS50年史』『UMKテレビ宮崎の30年』『テレビ愛知15年史』などがあり、地方局も含めて、テレビ局の社史は人気があるのだと再確認しました。

『出光100年史』も10回以上、貸し出されています。出光佐三をモデルにしたベストセラー「海賊とよばれた男」の影響などもあるかもしれません。

当館の「社史ができるまで」講演会で取り上げた『味の素グループの百年』は8回、アクセンチュア社史『KISEKI』も7回と貸し出しが多かったです。講演で興味を持っていただき貸し出しの増加につながったのだとしたら、嬉しく思います。

●お問い合わせ先 神奈川県立川崎図書館 科学情報課

210-0011 川崎市川崎区富士見2-1-4

電話：044-233-4537 FAX：044-210-1146

<http://www.klnet.pref.kanagawa.jp/kawasaki/index.html>